

木屋瀬

自治区会報

第57号

2018. 秋号

〒807-1261

八幡西区木屋瀬 2丁目29-18

TEL 617-1130

発行責任者：高宮 歳 継

敬老会に百三十余名が参加

芸能に盛り上がり盛會に終る

木屋瀬の敬老会は10月14日、こやのせ座で130余名が参加して開催された。13町の町内会長と婦人部のお世話で開会され、高宮区会長は「犯罪・災害から身を守り、安心・安全の住みよい街づくりを目指そう」と主催者代表挨拶をされた。その後、芸能に移り、水穂聖智津一門の華麗な民踊と地元宿場すずめの「よさこいソーラン」の踊りを楽しんだ。

そして、アコーデオンの高橋一郎さんの伴奏で懐メロや童謡などを参加者全員で口ずさみ会場は大いに盛り上がった。

お昼はお弁当と飲物で和やかなムードの会食となった。最後は老人会長が謝辞を述べ閉会となった。閉会后、不参加の方々に町内会長を中心に成金饅頭が配られた。

このように町部敬老会は成功裡に終了し11月17日の委員会で反省会を行うことにしている。



災害時 木屋瀬小学校が 正式に避難所に決まる

本年は日本列島各地に豪雨、台風、地震など自然災害が次々と襲いかかり、とりわけ八月の集中豪雨は九州北部にも大きな被害を与えました。

木屋瀬でも遠賀川の氾濫が憂慮され避難勧告などが次々と速報されました。このため水害時の避難場所として星ヶ丘小学校に加え避難訓練事業を行った木屋瀬小学校にも百名弱の避難者が駆けつけました。この時は高宮自治区会長の始め関係者で避難者への対応

を取りました。こうした経過を踏まえ十月三十一日、高宮自治区会長、寺本市民センター館長、木屋瀬小学校測上校長、廣瀬教頭、市の総務企画山本課長、石丸担当者の六人が出席し話し合いが進められました。会議の結果として木屋瀬小学校が正式に水害時の避難所として承諾されました。避難所として三階以上が認められ約二四〇名の収容が可能とのこと、毛布や非常食なども準備される

こととなります。このように災害時の条件が一定部分整ったこととなりますので忘れずに正しい対応が求められます。

街道筋

配水管改良工事が着工

長崎街道筋に埋設されている水道管は老朽化が進んでいるため、北九州上下水道局では配水管の改良を目指し、木屋瀬三丁目地内水道排水管の布設替工事が十月から着工し現在進められています。具体的には木屋瀬四つ角の交差点から北へ新地町までの三丁目の主要

道路が対象地域となっております。この区間は木屋瀬の中心に位置するこやのせ座があり交通量も多く片側通行などの措置も講じられませんが住民の皆さんへの影響は避けられない状況です。ご理解とご協力をお願い致します。



学習発表会

慣れ親しんだあの顔、この顔。可愛い子ども達が一生懸命合唱、器楽演奏、そして演劇する姿が何ともほほえましい。

木屋瀬小学校の学習発表会が体育館で開催された。

ちよっぴり緊張した一年生のはじめのことばに始まり、各学年ごとにコンパクトにまとめられたプログラムの演題に沿って進められた。通学途中に声を交わすあの子どももこの子もひたむきにとりくんでいる。

我々の時代の学芸会は主役があり脇役があったが、今は特定の一人が目立つのではなく全員が主役だ。均等な割り振りの中で自分の役割を健気にこなしている。決して派手さはないが集団による学年ごとの演題にはそれぞれ特徴があり観る者をあきさせない。子どもたちの学習発表も素晴らしいが指導する先生たちの一生懸命さも際立ち、子どもたちにも熱が入る。そして陰で待機し幕間にてきぱきと次の準備をする六年生の姿が頼もしく美しい。流行の言葉や木屋瀬の歴史や伝統も織り込まれ感激した。素晴らしい学習発表会でありがとう。この子達の未来が輝かしいものにそして幸多かれと祈る。